

## 現場で取り組んだ成果を発表

### 四国森林・林業研究発表会

一月二日(木)局大会議室において、平成二六年度四国森林・林業研究発表会を開催しました。

今回で六二回目を迎えた発表会には、局署等九課題、いの町等から三課題、県立高校から二課題、研究機関等四課題、計一八課題について、各現場等で取り組まれた日頃の研究成果等が発表されました。

#### 「会場では切れ目のない

#### 聴講者が積極的に質問」

今回は、各発表内容の充実はもとより、かかり木の安全対策、シカ害対策、林道、治山、自然保護等に関する発表がありました。

また、聴講された各署等の職員もメモを取るなど積極的な姿勢に外部の聴講者にも好印象を与えていました。

審査の結果、**受賞課題等は裏面**のとおりです。

局署等の皆さまには、次回(平成二七年度)の研究発表に向けて、日頃の業務等を踏まえ関係機関とも連携し、今からの取組をお願いします。

発表者、聴講者の皆さま、おつかれ様でした。

## 研究発表会を終えて

### スタッフのつぶやき。

前日の会場準備、当日の進行にも、技術普及課だけでなく、他の課等の応援も頂いたことに感謝。

受付も多くの聴講者来場で開会前から熱気。

当日、発表に使用するパワーポイント操作は、演壇・フロアー・パソコン持ち込みの3パターン。上手く作動に安堵。

発表時間、ほぼ時間内(12分)に。

発表の進行は、発表・質問も予定時間内に。

発表終了時、会場内の照明の点灯・消灯のタイミングも了、勤の良さを証明。

発表後の質問者マイク渡しも了。

三嶺(みうね・さんれい)の名称 勉強に。

特別発表にも 今年には多くの聴講者。

### 編集後記

研究発表会が終わるとともに

梅の花芽も膨らみ 寒さの中にも、

確かに春の足音が。



## 「キツツキ」って



### キツツキの特徴は、

キツツキ(写真)は森に住む鳥で、森の中で生活しやすいような体に。

最も特徴的なのは足で、普通の鳥は前方に3本、後方に1本に分かれる。キツツキは、前後2本ずつに。これは、幹を垂直に昇降するのに都合が良い。

尾羽の中央が固く、その先端がキリのように尖る。これも、その先端を樹皮に突き立てて、幹と平行に体を支える強力な道具。

舌は、根元が頭の上までまくれ上がり、これを延ばすと舌の長さの2倍ほどに。しかもその先端は楕円形でヤスリのように、粘液に富み幹の深い箇所にいる虫などを引っかけて引きずり出し食べるのに好都合。

幹をたたくドラミングは、なわ張り、メスを呼ぶ、昆虫の居場所を突き止める動作。キツツキは昆虫の外、ヌルデ、ヤマブドウなどの種子も食べる。

(もっと知りたい森と木の話より)

## 受賞課題等は裏面に掲載

## 平成 26 年度 四国森林・林業研究発表会 受賞課題

四国森林管理局 局長賞（最優秀賞 1 課題、優秀賞 3 課題、奨励賞 2 課題）

（一社）日本森林技術協会 理事長賞（1 課題）

（一財）日本森林林業振興会 会長賞（1 課題）

受賞名	受賞課題	発表者	
		所属	氏名
最優秀賞	「小型囲いわな」による効率的なシカ捕獲及び普及について	森林技術・支援センター 業務係長	芹口 竜一
優秀賞	かかり木の安全対策について	愛媛森林管理署 森林整備官 係員	水田 英司 武市 泰典
優秀賞	「作業道開設に伴う真砂土地帯における丸太組工と法面保護	(独)森林総合研究所森林農地 整備センター松山水源林整備 事務所 係長 主幹	則松 大雄 井上 弘一
優秀賞	三嶺におけるオーバーユース及びシカ食害対策の活動について	NPO 法人三嶺の自然を守る 会 理事長 会員 徳島森林管理署 森林技術指導官	暮石 洋 内田 忠宏 國見 公一
奨励賞	プレイハウス製作	高知県立高知工業高等学校 建築科 3 年生	井川 詩月 隅田 啓太 久武由布子 細井 一真 山脇 優也 渡邊 将志
奨励賞	四万十高校の活動と結の森	高知県立四万十高等学校 自然環境コース 1 年生	吾妻 勇哉 田邊 涼吉 中野 珠理 林 秋美 宮脇 亮
日本森林技術協会 理事長賞	下刈り省力化とシカ害対策に向けた新たな試みについて ～エリートツリーの植栽とシカ食害対策クリップの導入～	高知中部森林管理署 別府森林事務所森林官 森林技術・支援センター所長	小松 大高 池本 育利
日本森林林業振興会 会長賞	林業の成長産業化を図る流通改革 ～中予地域における契約販売への取組～	愛媛県中予地方局産業経済部 森林林業課 係長 係長	亀岡 泰次 俊成 秀樹